

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F-内-一覧-8
第 10 版 1 / 11

複写の有無 ☒ 有 / 無 (配布先：診療支援トップページ)

改版・レビューの履歴

版番号	運用開始日	内容	承認	作成/レビュー
第 1 版	2018/11/1	制定	阿部 裕子	平田 和成 2018/10/23
第 2 版	2019/6/1	採取容器の名称変更。便、その他、 インフルエンザ抗原検査の材料変更。	阿部 裕子	千葉 美紀子 2019/5/10
-	-	レビュー（変更なし）	勝見 真琴	阿部 裕子 2020/07/30
-	-	レビュー (ファイルを Excel から Word へ変更)	阿部 裕子	佐藤 貴美 2020/9/8
第 3 版	2021/12/10	レビュー実施 検体採取容器の表示記号変更と SARS-CoV-2 検査の追加	阿部 裕子	佐藤 貴美 2021/11/30
第 4 版	2022/12/2	レビュー実施 F 容器名を尿培養容器から滅菌スピッツに変更。髄膜炎・脳炎パネル検査の追加。口腔と胆汁に嫌気ポーター追加。胆汁に嫌気培養追加。脛に塗抹追加。産道（GBS 検索）追加。微生物検査→微生物抗原検査に修正。	阿部 裕子	千葉 美紀子 2022/11/18
第 5 版	2023/3/20	・体裁修正 ・PCR 検査 SARS-CoV-2 夜間休日検査実施に「○」追加。 ・微生物抗原検査 <i>C. difficile</i> イタリアック体に修正。	阿部 裕子	中山 麻美 2023/3/1

第 6 版	2023/12/25	レビュー実施 ・腸液、胆汁、その他(消化器系)、羊水、浸出液、ガーゼの採取容器から綿棒「○」を削除 ・カテーテルの採取容器からケンキポーター「○」を削除 ・喀痰、羊水、胸水、腹水、関節液、穿刺液、膿汁、創傷、褥瘡、浸出液、ガーゼ、カテーテル、耳漏、眼脂、角膜擦過の採取容器に滅菌スピッツ「○」を追加 ・上記変更該当する材料の特記事項を変更。 ・SARS-CoV-2 の検査所要時間、受付時間、特記事項を追記。	阿部 裕子	千葉 美紀子 2023/11/30
-	-	レビュー実施（変更なし）	鈴木 千恵	星 啓太 2024/07/29
第 7 版	2024/12/6	レビュー実施 微生物抗原検査に SARS-CoV-2 抗原検査 追加	鈴木 千恵	佐藤 敦子 2024/11/25
第 8 版	2025/5/16	レビュー実施 ・微生物抗原検査 HSV:特記事項 修正 ・抗酸菌検査 その他(夜間休日検査実施の塗抹) 削除 ・PCR 検査 髄膜炎・脳炎パネル:夜間休日検査実施欄に「○」追加、検査部へ搬送するまでの保存条件 修正 SARS-CoV-2:特記事項・所要時間・検査部へ搬送するまでの保存条件 修正。受付時間を削除 ・カテーテル提出時の特記事項を修正 ・尿中レジオネラ抗原および尿中肺炎球菌莢膜抗原検査所要時間を 30～90 分に変更	鈴木 千恵	佐藤 敦子 2025/4/16

		・ SARS-CoV-2 抗原の検査所要時間を 30～120 分に変更		
第 9 版	2025/8/29	レビュー実施 ・ PCR 検査に呼吸器パネル追加	鈴木 千恵	佐々木克幸 2025/8/25
第 10 版	2026/5/15	レビュー実施 ・ 採取容器ケンキポータからシードチューブⅡへ変更 ・ 一般細菌検査材料の気管チューブ、ガーゼ、カテーテル尿、フォーレ尿を削除し、吸引痰、肺胞洗浄液、胆汁 (ERCP)、カテーテル導尿、留置カテーテル尿を追加 ・ 抗酸菌材料に吸引痰、肺胞洗浄液を追加 ・ 一般細菌の特記事項に詳細採取部位の記載 (その他呼吸器、その他消化器、無菌材料、皮膚、その他)、嫌気培養依頼時のシードチューブⅡでの提出 (口腔)、入院 72 時間以降の目的菌記載 (糞便) を追記 ・ マイコプラズマ抗原と SARS-CoV-2 抗原を夜間休日検査実施可に変更	鈴木 千恵	千葉美紀子 2026/4/14

材 料	夜間休日 検査実施	採取容器								対象検査						検体必要量	特記事項	検査部へ搬送する までの保存条件	所要時間
		喀痰培養容器 E	培養検査用綿棒（青） A	培養検査用綿棒（橙） B	抗原検査用綿棒（赤） C	シードチューブⅡ G	滅菌スピッツ F	血液培養ボトル H	EDTA 採血管（③又は⑩）	顕微鏡検査	好気性菌培養検査 （通性嫌気性菌を含む）	嫌気性菌培養検査	真菌培養検査	感受性検査（一般細菌）	抗酸菌検査				
一般細菌検査																			
咽頭			○	○							○		○	○	/	材料そのもの、 または擦過物		・ すぐに提出できない場合は 冷蔵 保存。 ・ 尿、膈分泌物 検体で 淋菌 を 目的菌 とする 場合は 室温 保存。	・ 顕微鏡検査 →検体受付 当日中 ・ 一般細菌 ・ 嫌気性菌 ・ 真菌検査 （薬剤感受性 試験を含む） →2～7日
鼻腔			○	○							○		○	○	/	材料そのもの、 または擦過物			
喀痰		○						○		○	○		○	○	/	2～5mL			
吸引痰		○						○		○	○		○	○	/	2～5mL			
気管支液		○						○		○	○		○	○	/	2～5mL			
気管洗浄液		○						○		○	○		○	○	/	2～5mL			
肺胞洗浄液		○						○		○	○		○	○	/	2～5mL			
その他(呼吸器系)		○	○	○				○		○	○		○	○	/	材料そのもの、 または擦過物	詳細採取部 位を記入す ること		
口腔			○	○			○			○	○	○	○	○	/	材料そのもの、 または擦過物	嫌気培養依 頼時はシー ドチューブ Ⅱで提出		
糞便		○						○			○		○	○	/	材料そのもの	入後 72 時間		

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F-内-一覧-8
第10版 5 / 11

																	以降の患者 は目的菌を 記載すること		
腸液		○					○				○		○	○		材料そのもの			
胆汁		○				○	○			○	○	○	○	○		5～10mL			
胆汁 (ERCP)		○				○	○			○	○	○	○	○		5～10mL			
その他 (消化器系)		○					○				○		○	○		材料そのもの	詳細採取部 位を記入す ること		
中間尿							○			○	○		○	○		5～10mL			
カテーテル導尿							○			○	○		○	○		5～10mL			
留置カテーテル尿							○			○	○		○	○		5～10mL			
膣分泌物			○				○			○	○		○	○		材料そのもの、 または擦過物			
羊水						○	○				○	○	○	○		5～10mL			
その他 (泌尿・生殖系)		○	○				○			○	○		○	○		材料そのもの、 または擦過物	詳細採取部 位を記入す ること		
産道 (GBS 検索)											○					擦過スワブを専 用培地に浸して 提出。		・遮光して室温で 提出。	
動脈血								○		○※	○	○	○	○		FA、FN ボトルは 10mL、PF ボトル は	※培養 陽性時に 実施する	・すぐに提出 できない場合は 室温で保存	

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F-内-一覧-8
第 10 版 6 / 11

																1～4mL		
静脈血								○		○※	○	○	○	○		FA、FN ボトルは 10mL、PF ボトル は 1～4mL	※培養 陽性時に 実施する	・ すぐに提出 できない場合は 室温 で保存
髄液							○			○	○	○	○	○		1～10mL		・ すぐに提出 できない場合は 37℃ で保存
胸水						○	○			○	○	○	○	○		5～10mL	嫌気性菌を 疑う場合	・ すぐに提出 できない場合は 冷蔵 保存。
腹水						○	○			○	○	○	○	○		5～10mL	は、必ずシ ードチュー	
関節液						○	○			○	○	○	○	○		5～10mL	ブⅡで提出 する。	
穿刺液						○	○			○	○	○	○	○		5～10mL	詳細採取部 位を記入す ること。	
膿汁				○注		○	○			○	○	○	○	○		材料そのものま たは擦過物 ^注	注) 材料そ のものの採 取が困難な 場合に限り 擦過物で提 出する。	
創傷				○注		○	○			○	○	○	○	○		材料そのものま たは擦過物 ^注		
褥瘡				○注		○	○			○	○	○	○	○		材料そのものま たは擦過物 ^注		
浸出液						○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの		
ドレーン						○	○				○	○	○	○		5～10mL		
組織						○	○				○	○	○	○		材料そのもの		
カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	乾燥を防	
CV カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	ぐために減	

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F-内-一覧-8
第 10 版 7 / 11

CVP カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	菌スピッツ		
SG カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	に少量の生食を入れて提出する。		
耳漏			○	○		○	○				○	○	○	○		材料そのもの、または擦過物	嫌気性菌を疑う場合は、		
眼脂			○	○		○	○				○	○	○	○		材料そのもの、または擦過物	必ずシードチューブⅡ		
角膜擦過			○	○		○	○				○	○	○	○		材料そのもの、または擦過物	で提出する。		
皮膚		○	○	○			○				○		○	○		材料そのもの、または擦過物	詳細採取部位を記入すること。		
その他	○※	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの、または擦過物	詳細採取部位を記入すること。 ※髄液の直接塗抹のみ		
抗酸菌検査																			
喀痰		○													○	2～5mL		・ すぐに提出 できない場合は 冷蔵保存	・ 顕微鏡 検査： 1～2 日 ・ 培養検査： 1～6 週間
吸引痰		○					○								○	2～5mL			
気管洗浄液		○					○								○	2～5mL			
肺胞洗浄液		○					○								○	2～5mL			
胃液		○					○								○	2～5mL			

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F-内-一覧-8
第10版 8 / 11

尿		○				○								○	5～10mL				
膿汁		○			○	○								○	材料そのもの、または擦過物	・培地入り スワブでの 提出は検査 不可			
髄液						○								○	1～10mL				
胸水		○				○								○	5～10mL				
組織		○				○								○	材料そのもの				
血液									○					○	2～7mL	・血液培養 ボトルでは 検査不可			
糞便		○				○								○	材料そのもの、または擦過物	・培地入り スワブでの 提出は検査 不可			
その他		○			○	○								○	材料そのもの、または擦過物	・培地入り スワブでの 提出は検査 不可	・すぐに提出 できない場合は 冷蔵 保存		
気管支擦過塗抹 標本														○	塗抹標本 そのもの	・顕微鏡 検査のみ 実施可能			

・PCR
検査：
2～3日
・薬剤感受性
検査：
培養陽性後
2～3週間

検査項目	夜間休日 検査実施							必要量	容器	特記事項	所要時間	検査部へ搬送するまでの 保存条件
		咽頭粘液	角結膜擦過物	鼻腔粘液	糞便	尿	病巣基底部擦過物					
微生物抗原検査												
インフルエンザ抗原（A or B）	○			○					D	・ 培地入りスワブでの 提出は検査不可。	30～45 分	・ 乾燥を防ぐため検体採取後、直ちに提出。
アデノウイルス抗原（咽頭）	○	○							C			
アデノウイルス抗原（角結膜）	○		○						C			
A群溶連菌抗原	○	○							C			
RS. virus	○			○					D			
マイコプラズマ抗原	○	○							C	・ 糞便そのものを 提出すること。 培地入りスワブでの 提出は検査不可。	30～45 分	・ 直ちに提出できない場合は、冷蔵保存。
Rota. virus					○			拇指頭大	E			
C. difficile toxin					○			拇指頭大	E			
アデノウイルス抗原(糞便)					○			拇指頭大	E			

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F・内・一覧-8
第 10 版 10 / 11

ノロウイルス抗原					○			拇指頭大	E			
尿中レジオネラ抗原	○					○		1～5mL	⑦		30～90 分	
尿中肺炎球菌莢膜抗原	○					○		1～5mL	⑦			
HSV							○		C	・病巣部位をしっかりと 擦過すること。	30～45 分	・乾燥を防ぐため検体採取後、直ちに提出。
SARS-CoV-2 抗原	○			○					D		30～120 分	

施設名：東北大学病院検査部
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表
文書番号：F-内-一覧-8
第 10 版 11 / 11

検査項目	夜間休日 検査実施							必要量	容器	特記事項	所要時間	検査部へ 搬送するまでの 保存条件
		鼻咽頭	髄液									
PCR 検査												
SARS-CoV-2	○	○							I	採取後、培養液に浸す。	2 時間以内。	採取後、直ちに提出。
髄膜炎・脳炎パネル	○		○					1mL	F		2 時間以内	採取後、直ちに提出
呼吸器パネル		○							I	採取後、培養液に浸す。 診療科限定（呼吸器内科、呼吸器外科、救急科、小児科、感染症科、血液内科）	2 時間以内。	採取後、直ちに提出。